

## 題材名「食べ物のいのちを見つめて」

### 目標

資料を通して、自分の食生活をふり返り、人は他の生き物の「いのち」を奪って生きていることを理解させながら、自他の生命を大切にすることを養う。

### コンピュータを活用する利点

小学校3・4年生複式学級少人数の実践であるが、絵本の読み聞かせや視聴覚資料（映像）を提示する上で、小さい絵本やテレビ画面では、絵の細かい部分が分かりにくく迫りに欠ける面がある。そこで、プロジェクターで拡大して映すことにより、学習の課題をつかませ、考えさせるのに有効な資料を提示することができる。

### 授業の流れ

生きていく上で必要なものを考える。

プロジェクターで映した資料「いただきます！」の話を聞きながら、「いただきます」の意味について話し合う。

日頃の食生活（アンケート結果）の実態をふり返る。

資料DVD「一滴の血も生かす」を視聴して、自分の食生活と比べながら、「いのち」のつながりや感謝の心を理解する。

食事や食べ物に対する見方を改め、自分ができることは何かを自分なりの言葉でまとめ、「いのち」の大切さをつかむ。

### ICT 活用場面

1つ目の資料、絵本「いただきます！」（二宮由紀子・荒井良二、解放出版）をプロジェクターで拡大提示しながら読み聞かせをする。「いただきます」の意味を考えさせることで、食べ物の生産者、運搬者、調理者などへの感謝や、食べ物そのものへの感謝へとつなげていく。

2つ目の資料、NHK特集「一滴の血も生かす～肉～」（DVD「人間は何を食べて生きてきたか」より）を、同じくプロジェクターで拡大しながら映像と音声で提示する。肉食中心や嫌いな物は残すなど自分の食生活の実態と比べながら、「食べることは他の生き物の命を奪うこと」から、「いのち」のつながりや感謝の心を理解させる。



### 成果と課題

プロジェクターで資料を拡大提示することと、PowerPointの活用で場面転換を簡単に操作ができることで、児童の集中力が途切れず、学習の中心場面へスムーズな展開が可能であった。また、資料の一部分だけを選択するのに、DVDのキャプチャー機能を利用することで頭出しが簡単に行えた。しかし、児童の食生活の実態を紙面の一覧表で掲示したが、デジタル化したグラフ資料を提示した方が、簡単な作業で作成ができ、さらに見栄えもよくなるだろうと思った。

### ICT 活用環境等

使用周辺機器	ノートパソコン1台、プロジェクター
使用ソフト名	PowerPoint、Windows Media Player
使用教室	普通教室